参考様式第5－2号

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	（　　　）
目標年度	令和16年度
市町村名 （市町村コード）	会津若松市 （07202）
地域名 （地域内農業集落名）	門田地区 （中野、日吉、徳久、一ノ堰、花坂・中島、面川、沢、根岸、堤沢、御山、南青木集落）

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1　地域における農業の将来の在り方

（1）　地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	519.90 ha
①　農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	456.59 ha
②　田の面積	341.56 ha
③　畑の面積（果樹、茶等を含む）	178.34 ha
④　区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	54.11 ha
⑤　区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	28.89 ha
（参考）区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	108.51 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	58.32 ha
（備考）⑤について、規模縮小等の意向が示されている田においては、当面は引き受け手が確保される見込みであることから、その合計面積を記載している。	

（2）　地域農業の現状及び課題

■人
○農業者の高齢化により、規模縮小・リタイアの意向が示される農地が増加してきている。
○地区北側において市街化が進んでおり、農地の減少による農業者の減少や、農業者間のコミュニティの縮小等が著しくなってきている。
○農地の約3分の1が畑地及び樹園地のため、集積・集約化が困難である。
○狭小な不整形地において基盤整備事業が計画されているため、事業要件に適した集積・集約化の計画や、地区に適した高収益作物の検討が必要である。
○山沿いの農地で獣害が多発しており、規模縮小・リタイアの意向が増加している要因の1つになっている。

■農地
○田については、基盤整備を終えて3反以上の整形地が整備されている集落と、大部分が1反程度の狭小地の集落が混在しており、地区内で耕作条件に大きな差が生じている。
○畑地・樹園地はほぼ全てが狭小な不整形地となっており、また大部分が山沿いに位置しているため、高齢化により維持管理が困難になっており遊休農地が発生し始めている。
○会津総合運動公園北側の田について、狭小かつ不整形地と条件が著しく悪いことから、基盤整備事業の計画が進んでいる。
○山沿いの農地においてイノシシ等による獣害が深刻なため、多面的機能支払制度等を活用し対策活動を行っているが、高齢化により活動が困難になってきている。
○既に基盤整備済みの集落でも、住宅地付近等には狭小な畑地が残存しており、所有者自身により維持管理せざるを得ないが、高齢化により困難になってきているため、より効率的な手法について検討していく。

（3）　地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

○現状維持を希望する個人の農業者については、今後も地域の担い手として、水稲や野菜・果樹等の作付けを継続していく。
○集落内農業者のみで農地・農業の維持管理を図るのが困難な集落においては、入作者を交えた体制づくりについて検討していく。
○計画が進んでいる基盤整備事業について、関係機関と連携しながら事業完了に向けた取組を継続していく。
○山沿いの畑地・樹園地において、現状のままでは遊休農地化が進むことが懸念されることから、新たな引き受け手を誘致するための基盤整備事業や、近隣の農地を保全するための粗放的利用等を検討していく。
○効率的かつ省力的な獣害対策について、関係機関の情報提供を受けながら検討していく。

2　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
○基盤整備済みの田については、今後も引き受け手が確保される見込みであるため、現状の担い手を中心に水稲作付け等を継続していく。 ○計画が進んでいる基盤整備事業については整備完了に向けて取組を継続しつつ、現在は整備を計画していない狭小な農地においても新たな整備の要否を検討していく。 ○畑地及び樹園地においては、鳥獣害対策を図りつつ、基盤整備事業の取組や粗放的利用の検討を行い、遊休農地化を防いでいく。 ○住宅地付近の狭小地は、当面は所有者自身による維持管理を図りつつ、より効率的な手法について検討していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	29　　%	将来の目標とする集積率	40　　%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
○地区内農地の耕作者が分散している現状のため、今後、新規の農地貸借においては、地権者の意向を尊重しつつ、目標地図を基に集積・集約化を踏まえた貸借を推進していく。			

3　農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
○地区内農地の耕作者が分散している現状のため、今後、新規の農地貸借においては、地権者の意向を尊重しつつ、目標地図を基に集積・集約化を踏まえた貸借を推進していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
○現在、農業委員会の利用権設定等促進事業による利用権設定を活用して行われている農地貸借については、契約期間満了後、農地中間管理機構を活用した貸借へ移行していくが、それが難しい際は農地法第3条に基づく貸借を活用していく。 ○中小規模の農業者が農業を継続していくために、農作業受委託契約の活用についても検討していく。
(3)基盤整備事業への取組
○現在進められている基盤整備事業の計画については、関係機関と連携しながら事業完了に向けて取組を継続していく。 ○地区内に残存している狭小地や畑地・樹園地において、引き続き基盤整備の必要性を検討していく。 ○整備を終えている集落においても、今後の情勢に応じて更なる整備事業の要否を検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
○地区内農業者の子弟の内、数名が就農意向を示しているため、地区内の担い手を中心に新たな地区内農地の担い手へと育成していく。 ○畑地および樹園地における新たな引き受け手の確保に向けて、関係機関から門田地区で新規就農を希望する者についての情報収集を継続的に行っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
○農業機械の故障等の不測の事態が生じた際は、農業支援サービス事業者等の活用について検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☑	①鳥獣被害防止対策	☑	②有機・減農薬・減肥料	☑	③スマート農業	□	④輸出	□	⑤果樹等
□	⑥燃料・資源作物等	☑	⑦保全・管理等	□	⑧農業用施設	□	⑨耕畜連携	□	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害防止対策
山沿いの農地において鳥獣被害が増えていることから、関係機関から情報提供を受けながら、効率的かつ省力的な対策方法について検討していく。併せて、鳥獣緩衝帯の整備等、農地の粗放的利用による鳥獣害対策の取組についても検討していく。

②有機・減農薬・減肥料
環境への負荷が少ない農業である有機農業の取組が地区内で行われていることから、持続可能な食料システムの実現に向けて、取組を継続していく。

③スマート農業
農業従事者の減少や高齢化による担い手不足などの課題があることから、スマート農業の技術を活用し、省力化や効率的な生産を図っていく。

⑦保全・管理等
○地区内の多くの集落が多面的機能支払制度に取り組んでおり、農地の多面的な機能を維持し、集落内農地を集落で守っていく意識の醸成に効果的な取組であることから、今後も取組を継続していく。

4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状			10年後（目標年度：令和16年度）				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙の通り		228.20 ha	- ha		228.20 ha	- ha		
計	54経営体		228.20 ha	0 ha		228.20 ha	0 ha		

5　目標地図（別添のとおり）

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状					10年後（目標年度：令和16年度）						
			経営作目等	経営面積		作業受託面積		経営作目等	経営面積		作業受託面積		目標地図上の表示	備考
1	認農	経営体A1	複合経営	21.29	ha	-	ha	複合経営	21.29	ha	-	ha	A1	
2	認農	経営体A2	複合経営	11.65	ha	-	ha	複合経営	11.65	ha	-	ha	A2	
3	認農	経営体A3	複合経営	10.38	ha	-	ha	複合経営	10.38	ha	-	ha	A3	
4	認農	経営体A4	複合経営	10.23	ha	-	ha	複合経営	10.23	ha	-	ha	A4	
5	認農	経営体A5	複合経営	9.43	ha	-	ha	複合経営	9.43	ha	-	ha	A5	
6	認農	経営体A6	複合経営	9.13	ha	-	ha	複合経営	9.13	ha	-	ha	A6	
7	認農	経営体A7	水稲	8.22	ha	-	ha	水稲	8.22	ha	-	ha	A7	
8	認農	経営体A8	複合経営	7.99	ha	-	ha	複合経営	7.99	ha	-	ha	A8	
9	認農	経営体A9	複合経営	6.25	ha	-	ha	複合経営	6.25	ha	-	ha	A9	
10	認農	経営体A10	複合経営	5.58	ha	-	ha	複合経営	5.58	ha	-	ha	A10	
11	認農	経営体A11	複合経営	5.35	ha	-	ha	複合経営	5.35	ha	-	ha	A11	
12	認就	経営体A12	複合経営	4.87	ha	-	ha	複合経営	4.87	ha	-	ha	A12	
13	認農	経営体A13	複合経営	4.80	ha	-	ha	複合経営	4.80	ha	-	ha	A13	
14	認農	経営体A14	果樹	4.49	ha	-	ha	果樹	4.49	ha	-	ha	A14	
15	認農	経営体A15	複合経営	3.90	ha	-	ha	複合経営	3.90	ha	-	ha	A15	
16	認農	経営体A16	水稲	3.72	ha	-	ha	水稲	3.72	ha	-	ha	A16	
17	認農	経営体A17	複合経営	3.68	ha	-	ha	複合経営	3.68	ha	-	ha	A17	
18	認農	経営体A18	複合経営	3.42	ha	-	ha	複合経営	3.42	ha	-	ha	A18	
19	認農	経営体A19	水稲	3.41	ha	-	ha	水稲	3.41	ha	-	ha	A19	
20	認農	経営体A20	水稲	3.04	ha	-	ha	水稲	3.04	ha	-	ha	A20	
21	認農	経営体A21	果樹	2.41	ha	-	ha	果樹	2.41	ha	-	ha	A21	
22	認農	経営体A22	果樹	2.29	ha	-	ha	果樹	2.29	ha	-	ha	A22	
23	認農	経営体A23	複合経営	2.16	ha	-	ha	複合経営	2.16	ha	-	ha	A23	
24	認農	経営体A24	果樹	1.61	ha	-	ha	果樹	1.61	ha	-	ha	A24	
25	認農	経営体A25	果樹	1.59	ha	-	ha	果樹	1.59	ha	-	ha	A25	
26	認農	経営体A26	果樹	1.46	ha	-	ha	果樹	1.46	ha	-	ha	A26	
27	認農	経営体A27	水稲	1.18	ha	-	ha	水稲	1.18	ha	-	ha	A27	
28	認農	経営体A28	複合経営	1.17	ha	-	ha	複合経営	1.17	ha	-	ha	A28	
29	認就	経営体A29	複合経営	1.15	ha	-	ha	複合経営	1.15	ha	-	ha	A29	
30	認農	経営体A30	複合経営	1.09	ha	-	ha	複合経営	1.09	ha	-	ha	A30	
31	認農	経営体A31	複合経営	1.02	ha	-	ha	複合経営	1.02	ha	-	ha	A31	
32	認農	経営体A32	水稲	0.56	ha	-	ha	水稲	0.56	ha	-	ha	A32	
33	認農	経営体A33	野菜	0.09	ha	-	ha	野菜	0.09	ha	-	ha	A33	

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状					10年後（目標年度：令和16年度）						
			経営作目等	経営面積		作業受託面積		経営作目等	経営面積		作業受託面積		目標地図上の表示	備考
34	利用者	経営体B1	複合経営	10.04	ha	-	ha	複合経営	10.04	ha	-	ha	B	
35	利用者	経営体B2	水稲	4.55	ha	-	ha	水稲	4.55	ha	-	ha	B	
36	利用者	経営体B3	水稲	4.27	ha	-	ha	水稲	4.27	ha	-	ha	B	
37	利用者	経営体B4	複合経営	4.20	ha	-	ha	複合経営	4.20	ha	-	ha	B	
38	利用者	経営体B5	複合経営	4.20	ha	-	ha	複合経営	4.20	ha	-	ha	B	
39	利用者	経営体B6	複合経営	4.02	ha	-	ha	複合経営	4.02	ha	-	ha	B	
40	利用者	経営体B7	複合経営	3.22	ha	-	ha	複合経営	3.22	ha	-	ha	B	
41	利用者	経営体B8	複合経営	3.07	ha	-	ha	複合経営	3.07	ha	-	ha	B	
42	利用者	経営体B9	複合経営	3.07	ha	-	ha	複合経営	3.07	ha	-	ha	B	
43	利用者	経営体B10	水稲	3.01	ha	-	ha	水稲	3.01	ha	-	ha	B	
44	利用者	経営体B11	複合経営	2.95	ha	-	ha	複合経営	2.95	ha	-	ha	B	
45	利用者	経営体B12	複合経営	2.83	ha	-	ha	複合経営	2.83	ha	-	ha	B	
46	利用者	経営体B13	複合経営	2.78	ha	-	ha	複合経営	2.78	ha	-	ha	B	
47	利用者	経営体B14	複合経営	2.78	ha	-	ha	複合経営	2.78	ha	-	ha	B	
48	利用者	経営体B15	水稲	2.68	ha	-	ha	水稲	2.68	ha	-	ha	B	
49	利用者	経営体B16	複合経営	2.57	ha	-	ha	複合経営	2.57	ha	-	ha	B	
50	利用者	経営体B17	複合経営	2.35	ha	-	ha	複合経営	2.35	ha	-	ha	B	
51	利用者	経営体B18	水稲	2.26	ha	-	ha	水稲	2.26	ha	-	ha	B	
52	利用者	経営体B19	複合経営	2.20	ha	-	ha	複合経営	2.20	ha	-	ha	B	
53	利用者	経営体B20	複合経営	2.15	ha	-	ha	複合経営	2.15	ha	-	ha	B	
54	利用者	経営体B21	複合経営	0.39	ha	-	ha	複合経営	0.39	ha	-	ha	B	